

板橋区の蝶を調査する会報告No.177

9月の定例観察会は、エコポリスセンターがかんきょう観察員を対象にした実施した、「板橋の蝶観察会」（講師等は板橋区の蝶を調査する会の会員で実施）の内容を、板橋区の蝶を調査する会の定例観察会の報告としました。

観察日時：2025年9月13日(土)

観察地域：板橋区立美術館周辺、都立赤塚公園赤塚城址周辺、板橋区立赤塚植物園及び万葉薬用園他

参加者：加地、神山、川口、小林、塩田、荘司、坂本、長澤、山田、米澤、渡邊（11名）

かんきょう観察員11名、エコポリスセンター職員2名

当日の天気：曇り、時々晴れ・雨 27℃

実施概要

1 当日のスケジュール

- ① 午前8時30分 板橋区の蝶を調査する会の会員集合
- ② 午前8時30分受付開始（区立美術館前・トンボ池）ー受付事務（エコポリスセンター）
- ③ 午前8時45分 エコポリスセンター挨拶、蝶の会メンバー紹介、
班編成・リーダー確認、観察シート記入説明等
- ④ 観察開始
午前9時00分～午前11時10分（観察場所：班別に赤塚城址・赤塚植物園等を観察）
午前11時終了
- ⑤ まとめと挨拶 午前11時10分～午前11時30分
 - ・ 観察データ班ごとの集計・発表
 - ・ 終了挨拶

2 観察コース・時間（午前9時00分～午前11時10分）

赤塚城址⇄赤塚植物園（コース例）

区立美術館周辺⇒溜池公園・郷土資料館脇⇒新規開設公園⇒赤塚城址・バッタ広場及び周辺⇒城址梅林⇒赤塚植物園⇒万葉薬用園・農業園⇒区立美術館横。

3 班編成等

3班編成とし、各班の参加者約6名、蝶の会の指導者4名程度を配置した。蝶はネットで捕獲又は静止・飛翔（種の判別が可能であれば）している蝶について種等の確認をし、配布したA4「板橋区内で見られる蝶」の写真で説明し、参加者の理解を深めた。また、食草と幼虫についての話を交えて解説した。なお、捕獲し確認し終わった蝶については、順次リリースをした。

観察結果

（当日1～3班で確認した蝶（幼虫を含む）は全部で22種であった。

確認した蝶の科及び種は以下の通りである。

アゲハチョウ科

- ①アオスジアゲハ（成虫・幼虫）
- ②アゲハ（成虫と卵・幼虫）
- ③キアゲハ
- ④ジャコウアゲハ（幼虫）

シジミチョウ科

- ①ウラギンシジミ
- ②ツバメシジミ
- ③ムラサキシジミ
- ④ムラサキツバメ
- ⑤ヤマトシジミ

シロチョウ科

- ①キタキチョウ
- ②モンシロチョウ

タテハチョウ科

- ①アカボシゴマダラ（幼虫・蛹）
- ②アサギマダラ
- ③キタテハ
- ④コムスジ
- ⑤サトキマダラヒカゲ
- ⑥ツマグロヒョウモン♂
- ⑦ヒカゲチョウ
- ⑧ヒメアカタテハ
- ⑨ヒメジャノメ

セセリチョウ科

- ①イチモンジセセリ
- ②チャバネセセリ

観察概要

曇りがちで、晴れたり小雨が降ったりとの天気でしたが、気温は約27度となり、蝶が活動できる状況でした。

各観察場所で観察した蝶は下の表の通りである。

観察場所	確認した蝶の種類
区立美術館周辺	アゲハ・キタキチョウ・ヤマトシジミ・アカボシゴマダラ（幼虫・蛹）イチモンジセセリ
バッタ広場周辺	アゲハ・キタキチョウ・ツバメシジミ・ヤマトシジミ・キタテハ・コムスジ・サトキマダラヒカゲ・ヒカゲチョウ・ヒメアカタテハ・ヒメジャノメ・イチモンジセセリ
梅林周辺	アオスジアゲハ・アゲハ・キアゲハ・ウラギンシジミ・ヤマトシジミ・アカボシゴマダラ・キタテハ・ヒカゲチョウ・ヒメジャノメ・イチモンジセセリ
新規公園	アオスジアゲハ（幼虫）・アゲハ・ムラサキシジミ・ヤマトシジミ・キタテハ・イチモンジセセリ
赤塚植物園	アゲハ・キアゲハ・キタキチョウ・ヤマトシジミ
万葉薬用園	アゲハ（成虫・卵・幼虫）・キアゲハ・ジャコウアゲハ（幼虫）・キタキチョウ・ヤマトシジミ
農業園	アゲハ・キタキチョウ・モンシロチョウ・ツバメシジミ・ムラサキツバメ・ヤマトシジミ・ツマグロヒョウモン・イチモンジセセリ・チャバネセセリ
その他	キタキチョウ・ヤマトシジミ・アサギマダラ・キタテハ

2025 年 9 月 13 日 (土) 観察写真



アオスジアゲハ



アゲハ



アゲハ卵



アゲハ幼虫



ジャコウアゲハ幼虫



キタキチョウ



モンシロチョウ



アカボシゴマダラ幼虫



アカボシゴマダラ蛹



キタテハ



ツマグロヒョウモン♂



ヒメアカタテハ



ツバメシジミ



ムラサキツバメ



ヤマトシジミ



イチモンジセセリ



チャバネセセリ



アケビコノハ幼虫



オンブバッタ